

会議録

会議の名称	平成25年度 第2回西東京市文化芸術振興推進委員会
開催日時	平成25年9月26日（木曜日） 午後7時から9時まで
開催場所	保谷庁舎1階会議室
出席者	委員：赤澤委員長、有賀副委員長、岸上委員、近辻委員、西田委員、山崎委員、山本委員 事務局：林文化振興係長、工藤文化振興係主査
議題	1 第1回西東京市文化芸術振興推進委員会会議録について 2 計画前期の取組実施報告について 3 平成24年度施策 事業の評価について（施策番号1から5まで） 4 その他
会議資料の名称	1 第1回西東京市文化芸術振興推進委員会会議録 2 計画前期の取組実施報告について 3 施策 事業評価シート1と2 ・参考資料 平成24年度進捗状況調査結果一覧（修正版） 「対話による美術鑑賞」フォーラム配布資料一式 第13回西東京市市民文化祭オープニングイベントチラシ 第13回西東京市市民文化祭プログラム
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 発言者の発言内容ごとの要点記録 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>開会 ○委員長： 定足数と出席している委員を確認</p> <p><u>議題1 第1回西東京市文化芸術振興推進委員会会議録について</u> 委員各位： 承認</p> <p><u>議題2 計画前期の取組実施報告について</u> 事務局： 資料2に基づき説明</p> <p>（ボランティア募集について） ○委員： ボランティア応募者が4人ということだが、どのような方か。</p>	

ボランティア募集を効率よくするには小学校のお母さんへのPRでは。

○事務局：

主婦の方や元教師の方である。
市内市立小学校全児童にチラシを配布している。

(フォーラムの感想)

○委員：

福先生の話はとても良かった。

「対話による美術鑑賞」を実施するモデル校は1校か2校程度がいいのでは。

ボランティアは、子供の感性を引き出す会話能力が必要である。そのような能力がある人は、20人のうち4人から5人程度ではないか。

図工の先生にも見せてあげたいと思った。

みることの意味、心構えを学ぶことができた。

ボランティアの質が大事であると感じた。

新規事業、新しい試み、発想はいいと思う。

「対話による美術鑑賞」を学ぶフォーラムなのか、ボランティア募集なのかがよく分からなかった。「対話による美術鑑賞」授業の映像だけではなく、シミュレーション風景があれば良かったと思う。

ビデオカメラが何台も入っており、撮影者からどいてくれと言われ、好意的に見ることができなかった。気持ちよく参加できる環境づくりが必要である。

会場に先生のファンと思われる若い女性が多く、不自然な盛り上がりがあり、違和感を感じた。

この事業はこれからはPRが大切であり、フォーラム開場時に流れていた「対話による美術鑑賞」に関するDVDをどこかの施設で常時流すことはできないのか。

○事務局：

モデル校の数については、ボランティアの人数にもよるが、「対話による美術鑑賞」実施に向けた調整会議で、学校の意向を確認しながら決定することになる。

主催者としては、今後、参加者が不快な思いをしないようなイベントの開催を心がけたいと思う。

DVDを常時流すことができる施設はないが、市内のイベント等で流すことができればと思っている。

議題3 平成24年度施策 事業の評価について (施策番号1から5まで)

事務局：

資料3に基づき説明

事務局案に対して意見をもらう。

(施策1 多様なメディアによる情報提供)

○委員：

「ある程度充実している」という部分は削除すべき。

情報発信は「分かりやすい」を入れる。

文化情報誌の発行が必要。

地元商店街との連携が必要。

(施策2 幅広い年齢層が参加できる体験 鑑賞機会の充実)

○委員：

「多くの市民のニーズを把握」という部分を「多くの市民と文化団体のニーズをより的確に把握」とすべき。

「ある程度充実している」という部分は削除すべき。

公共施設の充実にはデジタル機能の充実が欠かせない。特に図書館のデジタル機能の充実が必要である。

(施策3 子供達の参加の機会の充実)

○委員：

文化施設を子供たちが優先的に利用できると良い。

昨年、保谷第二小学校でアウトリーチ演奏会を行ったが、市内全校でできると良いと思った。

(施策4 個人及び団体活動のきっかけづくり)

○委員：

文化祭については、施策 事務事業評価における行革本部の指摘事項が改善されていないように思うが。

○事務局：

平成23年度の事務事業評価における行革本部評価では、市民文化祭事業について、「今後も活性化を図っていく必要がある」と言っており、「教育機関との連携により若年層の取り込みを図る」という指摘に対しては、実行委員会と行政が学校に積極的に働きかけを行っている。

○委員：

市民まつりは出店料が高く、一般の団体は参加しづらい。団体のPRや食べ物屋が多く文化芸術活動とはいえない部分がある。

○事務局：

市民まつりは、文化芸術以外の要素もいっぱい詰まったイベントである。

推進委員会のコメントは、文化芸術を推進していくにはどうしたらよいかというような前向きなコメントがほしい。市民文化祭や市民まつりは、実際、多くの市民が楽しみにしている事業でもあり、行政としてもマンネリという声には実行委員会とともに改善に努めているところである。

○委員：

推進委員会のコメントは一つにまとめないで、反対の意見があったことも記載してもいいのでは。

○事務局：

推進委員会のコメントを一つにまとめるのは難しいとは思いますが、できるだけ一つにまとめてほしい。

(施策5 様々な人が参加しやすい環境づくり)

○委員:

田無公民館のあめんぼ青年教室は、実績ある中核事業に成長した。

議題4 その他

○委員:

日本の文化芸術に関する予算割合は0.1パーセントと言われているが、西東京市はどれくらいか。

○事務局:

市報等で、「予算概要」や「総合計画事業の主な取り組み」で分野ごとの金額や割合が出ているので、それならお示しできる。

第13回西東京市文化祭が10月19日（土曜日）から11月15日（金曜日）まで開催。それに先立って、10月1日（火曜日）から10月5日（土曜日）までアスタセンターコートでPRinアスタを開催。

次回開催日時については10月29日（火曜日）午後7時からこの場所に決定。開催通知は後日送付することとする。

閉会